

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
49 関西国際空港関連事業（機能充実要望活動）

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	2	公共交通体系の充実
施策	1	公共交通体系の充実
基本方針	4	広域的交通機能の充実

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間			～
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	交通政策課	山路 都子 (435-1016)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		交通政策費	
	大事業		交通政策事業	
事項		関西国際空港関連事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	関西国際空港の立地に伴う波及効果を積極的に導入、活用することにより紀北地域の振興を図り、また、南近畿の発展のため、関空連絡南ルートをはじめとする空港周辺地域の交通ネットワークの早期整備を目指す。	地域整備をはじめとする関連事業等について、情報・資料収集、研修、調査研究、関係機関との協議、調整及び関係機関への要望等を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		紀泉：要望活動の実施、会議の開催、啓発活動の実施。南ルート：要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	啓発活動の実施。南ルートの要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	啓発活動の実施。南ルートの要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	啓発活動の実施。南ルートの要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。	啓発活動の実施。南ルートの要望活動、会議への参加。その他の関空関係団体の会議等への参加。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	670	702	674	182	176		176		176	
	伸び率 (%)	-	-	0.6%		-73.9%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	1,858	2,772	2,772	2,297	2,297		2,297		2,297
		非常勤職員									
		小計	1,858	2,772	2,772	2,297	2,297		2,297		2,297
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他				139						
	一般財源（税等）	670	702	674	43	176		176		176	
	所要人数	常勤職員	0.25	0.36	0.36	0.31	0.31		0.31		0.31
非常勤職員											
主な予算内訳		管外出張旅費 68千円、負担金66千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	関西国際空港の機能充実要望活動実施回数					年度目標値	2	1	1	1	1
						実績値	2	1			
	単位	回	全体目標値	6	全体目標達成度	50.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
						年度目標値					
						実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標	関西国際空港航空機年間発着回数					年度目標値	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000
						実績値	133,296	145,037			
	単位	回	全体目標値	135,000	全体目標達成度	107.4%	年度別達成度	98.7%	107.4%		
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	紀北地域の振興には、関空の発展及びその波及効果を導入するとともに府県間道路等の交通網整備を行うことが必要不可欠なため、関係団体と連携し、積極的に関係機関へ要望を行う必要がある。
「見直し」 「改善」案	関西国際空港連絡南ルート等早期実現期成会と構成団体が重複している関西国際空港紀泉問題連絡協議会を統合したことにより、事業のコストを削減することができた。